

No.	基本方針	No.	施策群	No.	対策	No.	新規	指標	現状	参考値	R5末目標	担当課
I	チーム学校の推進	1	チーム学校の基盤となる組織力の強化	(1)	学校の組織マネジメント力を強化する仕組みの構築	1	●	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している小・中学校の割合（「よくしている」と回答した学校の割合）	・小：29.5% ・中：25.7%	全国平均 ・小：37.3% ・中：33.9%	・小：40%以上 ・中：40%以上 かつ全国平均以上	小中
						2	●	学校経営計画の年度末評価結果がB（目標を概ね達成）以上の高等学校の割合	66% ※H30年度		100%	高等
				(2)	教員同士が学び合い高め合う仕組みの構築	3		学習指導と学習評価の計画の作成に当たり教職員同士が協力し合っている小・中学校の割合（「よくしている」と回答した学校の割合）	・小：34.2% ・中：41.3%	全国平均 ・小：47.9% ・中：42.0%	・小：50%以上 ・中：50%以上 かつ全国平均以上	小中
						4	●	主幹教諭等を中心に教員同士が学び合う仕組みが構築できている高等学校の割合	—		100%	高等
				(3)	地域との連携・協働の推進	5	●	コミュニティ・スクールを導入している小・中学校の割合	・小：19.1% ・中：24.0%		・小：100% ・中：100%	小中
						6		地域学校協働本部の実施率（小・中学校）【後掲】	92.4%		100%	生涯
						7		保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している学校の割合（よく参加していると回答した割合）	・小：59.1% ・中：34.9%	全国平均 ・小：64.6% ・中：38.2%	・小：70%以上 ・中：50%以上 かつ全国平均以上	生涯
				(4)	外部・専門人材の活用の拡充	8	●	校内支援会において専門家の見立てを基に支援方法等が決定されている学校の割合【後掲】	—		・小：100% ・中：100% ・高：100%	人権
						9	●	放課後等における学習支援の実施校率【後掲】	小・中：98.6% 高：96.7% ※高は30校対象		小・中：100% 高：100%	小中 高等 生涯
						10	●	運動部活動指導員を配置した部活動において運動部活動指導員が単独で指導した部活動時間の割合 ※高知県運動部活動ガイドラインで示した部活動時間が上限（11h/週。高等学校において校長が認めた場合は16h/週）	・中：27.5% ・高：29.9%		・中：50%以上 ・高：50%以上	保体
						11	●	校務支援員配置校において教員一人当たりの時間外在校等時間が前年度比3%以上削減できた学校の割合	校務支援員配置校の教員の時間外在校等時間の平均時間：48時間35分 R1:30校(6月～11月)	—	・小：100.0% ・中：100.0% ※R2～R5まで前年度比3%ずつ削減 →R5年度末における時間外在校等時間の平均時間：約43時間	教福
				(5)	質の高い教員の確保・育成	12	●	高知県公立学校教員採用候補者選考審査における採用予定数の充足率（採用数/採用予定数）及び採用倍率（受審者数/採用数）	[充足率] ・小：106% ・中：112% [採用倍率] ・小：7.7倍 ・中：10.3倍		[充足率] ・小：100%以上 ・中：100%以上 [採用倍率] ・小：3.0倍以上 ・中：3.0倍以上	教福
						13		「高知県教員育成指標」で求められる資質・能力を身につけるための「自己の達成規準」の達成状況	・自己評価：3.1 ・校長評価：3.2 ※3年経験者研修		・自己評価：3.1以上 ・校長評価：3.1以上 ※4段階評価	教セ
				2	チーム学校の推進による教育の質の向上	(1)	教員の教科等指導力の向上 <小・中学校>	14		習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした学校の割合（「よく行った」と回答した学校の割合）	・小：22.3% ・中：18.3%	全国平均 ・小：22.2% ・中：20.8%
		15						授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思うと回答した児童生徒の割合（「当てはまる」と回答した割合）	・小：37.7% ・中：32.3%	全国平均 ・小：33.0% ・中：29.3%	・小：50%以上 ・中：50%以上 かつ全国平均以上	小中
		16						話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと回答した児童生徒の割合（「そう思う」と回答した割合）	・小：32.9% ・中：32.0%	全国平均 ・小：30.3% ・中：28.3%	・小：50%以上 ・中：50%以上 かつ全国平均以上	小中
		(2)	基礎学力定着に向けた取組の充実<高等学校>			17	●	授業において「学習のねらいが示され」「生徒が自ら考え、発表したり、振り返る場面が設定されている」など、授業改善が図られている教員の割合	—		70%以上	高等
		(3)	多様な学力・進路希望に対応した指導の充実<高等学校>			18	○	公立高校卒業生に占める国公立大学進学者の割合	12.6% ※H30年度卒		15%以上	高等
						19		公立高校卒業生の就職内定率（全・定・通）	99.0%		99%以上	高等
		(4)	規範意識や自尊感情など豊かな心を育む取組の充実			20	●	特別の教科 道徳において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる児童生徒の割合（「よくしている」と回答した割合）	・小：46.0% ・中：39.2%	全国平均 ・小：42.1% ・中：34.0%	・小：60%以上 ・中：60%以上 かつ全国平均以上	小中
						21	○	個別の人権課題に関する校内研修及び授業研究を年間計画に位置づけ、実施している学校の割合	—		・小：100% ・中：100% ・高：100%	人権
		(5)	目的意識の醸成や社会性の育成に向けた取組の充実			22	●	キャリア・パスポート（キャリアシート）を活用している学校の割合	小： 中： R2.2月集計予定 高：11.4%		100%	小中 高等
						23		公立高校卒業後、就職した生徒の就職後1年目の離職率	13.8%		10%以下	高等
						24	●	3年生4月の進路希望未定の生徒の割合	5.2%		3%以下	高等
		(6)	生徒指導上の諸課題への組織的な対応・支援の強化			25	●	開発的な生徒指導（生徒指導の3機能）を進めることにより、「学校に行くのは楽しい」（小・中学校）、「学校生活は充実している」（高等学校）と肯定的に回答した児童生徒の割合	小：85.8% 中：79.5% 高：86.8%		小：90%以上 中：85%以上 高：90%以上	人権
						26	●	『高知家』いじめ予防等プログラムを活用した研修等を教職員、保護者、地域の方々に対して実施した学校の割合	—		教職員対象：100% 保護者・地域対象：80%以上	人権
						27	●	校内支援会において、専門家の見立てを基に支援方法等が決められている学校の割合	—		・小：100% ・中：100% ・高：100%	人権
				28	●	不登校担当教員（者）が、児童生徒の出欠状況等早期支援につながる情報を毎日管理職に報告している学校の割合	—		・小：100% ・中：100%	人権		

No.	基本方針	No.	施策群	No.	対 策	No.	新規	指 標	現 状	参考値	R5末目標	担当課				
I	(つづき) チーム学校の 推進	2	(つづき) チーム学校の推 進による教育の 質の向上	(7)	健康・体力の向上	29		1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合<小・中学校>	・小男：9.8% ・小女：14.7% ・中男：10.4% ・中女：26.0%	全国平均 ・小男：7.7% ・小女：13.0% ・中男：7.1% ・中女：19.4%	全国平均以下	保体				
						30	●	週1日（30分以上）、運動・スポーツをする生徒の割合（学校の体育の授業を除く）<高等学校>	52.3%		全国平均以上 （全国の18・19歳の スポーツ実施率）	保体				
						31		毎日朝食を食べる児童生徒の割合	・小男：80.4% ・小女：81.2% ・中男：79.6% ・中女：73.1% ・高男：75.6% ・高女：79.4%	全国平均 ・小男：82.2% ・小女：82.3% ・中男：81.6% ・中女：78.2% ※高等学校は 全国調査なし	・小・中：全国平均以 上 ・高：85%以上	保体				
						32		肥満傾向児の出現率	・小男：13.5% ・小女：10.4% ・中男：10.2% ・中女：9.9%	全国平均 ・小男：11.1% ・小女：8.2% ・中男：8.6% ・中女：6.7%	全国平均以下	保体				
				(8)	部活動の充実と運営の 適正化	33	●	「高知県運動部活動ガイドライン」に明記した週休日及び練習時間を遵守している中 学校の割合	—		100%	保体				
						34	●	「県立学校に係る運動部活動の活動方針」に明記した週休日及び練習時間を遵守 している高等学校の割合	—		100%	保体				
				II	厳しい環境 にある子ども への支援や 子どもの多様 性に合った 教育の充実	1	多様な課題を抱 える子どもへの支 援の充実	(1)	保育所・幼稚園等と家 庭や地域等との連携の 充実	35	○	子育て支援体制の拡充に取り組む園の数・割合	園庭開放・子育て相談 の実施率：82.5% 多機能型保育事業の実 施箇所数：13箇所		園庭開放・子育て相談 の実施率：100% 多機能型保育事業の 実施箇所数：40箇所	幼保
										36	○	保育所等における家庭支援の計画・記録の作成率	68.9%		100%	幼保
(2)	放課後等における学習 の場の充実	37	●					放課後等における学習支援の実施校率	小・中：98.6% 高：96.7% ※高は31校対象		小・中：100% 高：100%	小中 高等 生涯				
(3)		相談支援体制の充実・ 強化	38					●	心の教育センターによる教育支援センターでの支援会・ケース検討会等の実施率 ※教育支援センター22ヶ所（R1）	40.9%		100%	心セ			
			39					●	校内支援会において専門家の見立てを基に支援方法等が決定されている学校の割 合【再掲】	—		・小：100% ・中：100% ・高：100%	人権			
(4)	地域全体で子どもを見 守り育てる取組の推進	40						高知県版地域学校協働本部の仕組みを構築した小・中学校の割合	22.6% ※H30年度		100%	生涯				
(5)	経済的負担の軽減	—	—			—	—	—	—	—						
2	特別支援教育の 充実	(1)	障害の状態や教育的 ニーズに応じた指導・支 援の充実			41	●	ユニバーサルデザインについて、県が示す5つの重点事項※を全ての教室で実践してい る学校の割合 ※県が作成する『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』の内容に基 づいて示される、例えば『授業のめあてを提示する』といった具体的取組	—		ユニバーサルデザインの研 究計画等への位置付け ・小：100% ・小：95.8% ・中：94.4% ・高：100% ・高：49.0%	・小：100% ・中：100% ・高：100%	特支			
						42	●	「個別の指導計画」が作成され、校内支援会や職員会議における情報共有のもと、組 織的な指導・支援が実施されている幼児児童生徒の割合	—		個別の指導計画の作成 ・保幼：54.9% ・小：81.4% ・中：69.1% ・高：60.3%	・保幼：100% ・小：100% ・中：100% ・高：100%	特支			
						43		発達障害の診断・判断のある幼児児童生徒に占める「引き継ぎシート」等のツールを 活用した引き継ぎが行われた児童生徒の割合	・保幼→小：92.0% ・小→中：88.5% ・中→高：34.7%		・保幼→小：100% ・小→中：100% ・中→高：80%以上	特支				
		(2)	特別支援学校における 多様な教育的ニーズへ の対応の充実			44		5領域全ての特別支援学校教諭二種免許以上を保有する県立特別支援学校の教 員の割合（採用3年未満と人事交流3年未満を除く）	45.3% ※R1.5.1現在		100%	特支				
						45		特別支援学校小学部の児童の居住地校交流の実施率	51.3% ※R1.5.1現在		90%以上	特支				
III	デジタル社会 に向けた教 育の推進	1	先端技術の活用 による学びの個 別最適化			(1)	ICTやA I などの先端 技術の活用	46	●	小規模高等学校における遠隔教育システム活用校数	10校		14校	教セ		
								47	●	授業等においてICTを効果的に活用していると回答した教員の割合	—		70%以上	高等		
						(2)	学校のICT環境の整備	48	●	県立学校におけるGIGAスクールネットワークの整備率 ※GIGAスクールネットワークの水準（10Gbps以上で接続可能なLANケーブル等）	—		100%	教政		
				49	●			小・中学校における1人1台タブレットPCの整備率	—		100%	教政				
				50	●			統合型校務支援システムを日常的に活用している教員の割合（県立・市町村立）	—		100%	教政				
		2	創造性を育む教 育の充実	(1)	プログラミング教育の推 進	51	●	「高知県ICT活用ハンドブック」に掲げた発達段階の目標を踏まえ、プログラミング教育 を実践した学校の割合	—		100%	教政				
				(2)	A I 人材育成のための 教育の推進	52	●	高大連携によるデジタル社会に対応した教育システムの構築			R4年度より本格実施	高等				
		IV	地域との 連携・協働	1	中山間地域をは じめとする各地域 の教育の振興	(1)	中山間地域における多 様な教育機会の確保	53	●	中山間地域の高等学校のうち、令和元年度と比較して入学者数が増加した学校数	—		10校中10校	振興		
54	●							小規模高等学校における遠隔教育システム活用校数【再掲】	10校		14校	教セ				
(2)	県立高等学校再編振 興計画の着実な推進					55	●	中山間地域の高等学校のうち、令和元年度と比較して入学者数が増加した学校数 【再掲】	—		10校中10校	振興				
						56	●	県立学校におけるGIGAスクールネットワークの整備率【再掲】 ※GIGAスクールネットワークの水準（10Gbps以上で接続可能なLANケーブル等）	—		100%	教政				
						57		教育版「地域アクションプラン」推進事業における各市町村による事業検証結果におい て目標を達成できた割合	98.6% ※H30年度		100%	教政				



No.	基本方針	No.	施策群	No.	対 策	指 標		現 状	参考値	R5末目標	担当課	
						No.	新規					
IV	(つづき) 地域との 連携・協働	2	学校・家庭・地 域の連携・協働 の推進	(1)	地域全体で子どもを見 守り育てる取組の推進	58		地域学校協働本部の実施率（小・中学校）	92.4%		100%	生涯
						59		放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率（小学校）	96.3%		100%	生涯
						60		高知県版地域学校協働本部の仕組みを構築した小・中学校の割合【再掲】	22.6% ※H30年度		100%	生涯
						61		● コミュニティ・スクールを導入している小・中学校の割合【再掲】	・小：19% ・中：24%		・小：100% ・中：100%	小中
				(2)	家庭教育への支援の 充実	62		家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の割合(当てはまる・どちらかとい えば当てはまると回答した割合)	・小：77.8% ・中：73.3%	全国平均 ・小：80.5% ・中：76.0%	全国平均以上	生涯
						63		● 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童生徒の割合 ● 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童生徒の割合 (している・どちらかといえはしている回答した割合)	[寝ている] ・小：81.1% ・中：79.6% [起きている] ・小：90.3% ・中：92.8%	全国平均 [寝ている] ・小：81.4% ・中：78.0% [起きている] ・小：90.6% ・中：92.8%	[寝ている] ・小：85%以上 ・中：85%以上 かつ全国平均以上 [起きている] ・小：95%以上 ・中：95%以上 かつ全国平均以上	生涯
V	就学前教育 の充実	1	就学前の教育・ 保育の質の向上	(1)	保育所保育指針・幼 稚園教育要領等に沿っ た指導方法の徹底	64		○ ガイドライン等を活用し、教育・保育の質の向上に向け、継続的に取り組んでいる園の 割合	58.8% ※H30.12月		100%	幼保
						65		教育センターが実施するステージ研修の受講園の割合	新規採用保育者研 修：53.1% 主任・教頭研修： 62.2% 所長・園長研修： 60.3%		新規採用保育者研 修：80%以上 主任・教頭等研修： 80%以上 所長・園長研修： 80%以上	幼保
				(2)	保幼小の円滑な連携・ 接続の推進	66		● 保幼小の連絡会、子どもの交流活動の実施率（それぞれ年3回以上実施）	[連絡会] ・保・幼等：72.0% ・小：67.8% [交流活動] ・保・幼等：76.2% ・小：80.3% (高知市以外)		[連絡会] ・保・幼等：100% ・小：100% [交流活動] ・保・幼等：100% ・小：100%	幼保
		2	(1)	保育者の親育ち支援 力の強化	67		● 親育ち支援における園内の研修計画作成率	53.9% ※R1.6月末		100%	幼保	
					68		親育ち支援担当者の配置率	76.8% ※R1.6月末		100%	幼保	
			(2)	保護者の子育て力向 上のための支援の充実	69		夜10時までに寝る幼児の割合（3歳児）	81.7% ※R1.8月末	全国平均 68.5% (H22) ※2才児	95%以上	幼保	
					70		親育ち支援担当者の配置率【再掲】	76.8% ※R1.6月末		100%	幼保	
					71		● 社会教育主事を配置している市町村数	13市町村		26市町村	生涯	
VI	生涯学び続 ける環境づく り安全・安 心な教育基 盤の確保	1	生涯にわたって学 び地域社会に生 かす環境づくり	(1)	知の循環型社会を目 指した生涯学習・社会 教育の推進	72		保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支 援、学校行事の運営などの活動に参加している学校の割合（よく参加していると回答 した割合）【再掲】	・小：59.1% ・中：34.9%	全国平均 ・小：64.6% ・中：38.2%	・小：70%以上 ・中：50%以上 かつ全国平均以上	生涯
						73		県立青少年教育施設の利用者数（青少年）	159,547人 ※H30年度		172,000人以上	生涯
						74		● 生涯学習ポータルサイトへのアクセス件数	—		55,000件/年	生涯
						(2)	オーテピア高知図書館 を核とした県民の読書 環境・情報環境の充実	75		県民一人当たりの図書貸出冊数	4.4冊 ※H30年度	全国平均 5.4冊 (H29年度)
				76				県立学校、市町村立図書館等への協力貸出冊数	22,245冊 ※H30年度		35,000冊以上	生涯
				77				オーテピア高知図書館におけるレファレンス件数	30,041件 ※H30年度		30,000件以上	生涯
				78				○ 児童・生徒が家や図書館で普段（月～金）全く読書をしない割合	・小：16.1% ・中：31.0%	全国平均 ・小：18.7% ・中：34.8%	全国平均を3ポイント 以上下回る	生涯
				(3)	多様なニーズに対応し た教育機会の提供	79		若者サポートステーション利用者の進路決定率（単年度）	32.7% ※R1.10月		40%以上	生涯
		2	文化財の保存・ 活用	(1)	計画的な文化財の保 存・活用の促進	80		高知城の入場者数	349,677人 (うち、「チームラボ高知 城光の祭」入館者 69,031人、小・中・高 校生35,158人) ※H30年度		280,000人以上 (うち小・中・高校生 36,000人以上)	文化
						(1)	防災を中心とした安全 教育・安全管理の 充実	81		● 発達の段階に応じて設定した、児童生徒等が自らの命を守るために必要な知識・技能 (別途設定する)を身に付け、それを確認できる授業や訓練が実施されている学校の 割合	—	
		82		● スクールガード（学校安全ボランティア）や地域住民等の活動の状況を把握し、見守 り活動等の登下校の安全対策について家庭や地域、関係機関等との連携・協働体 制ができている学校の割合	・小： % (R2.2月集計)				・小：100%	学安		
		(2)	南海トラフ地震等の災 害に備えた施設整備の 推進	83				学校施設等の耐震化率	・保・幼等：92.0% ・公立小・中：98.6% ※R2.8月に調査結果 公表 ・公立高・特：100%	全国平均 ・保・幼等：88.4% ・公立小・中：99.2% ・公立高・特：98.4%	・保・幼等：100% ・公立小・中：100% ・公立高・特：100%	学安 幼保
				84				● 県立学校体育館の非構造部材等の耐震化率	40.0% (16校/対象40校) ※R2.3月に確定		100%	学安
		(3)	長寿命化改修など教 育施設の計画的な整 備の推進	85				学校施設の長寿命化改修の実施	・調査：4棟		・調査：33棟 ・設計：33棟 ・工事：16棟	学安

※横断的取組の指標

No.		No.		No.	取組	No.	新規	指標	現状	参考値	R5末目標	担当課
-	6つの基本方針に関わる横断的な取組	1	不登校への総合的な対応	(1)	不登校の未然防止と初期対応	86	○	1,000人あたりの新規不登校児童生徒数	・小：5.0人 ・中：22.1人 ・高：11.5人	・小：2.8人 ・中：20.9人 ・高：5.6人	・小：2.0人以下 ・中：20.0人以下 ・高：5.0人以下	人権
				(2)	社会的自立に向けた支援の充実	87	●	90日以上欠席している不登校児童生徒のうち、学校内外の関係機関等（医療、福祉、教育支援センター、心の教育センター、SC・SSWなど）の相談や支援を受けている児童生徒の割合	—		・小：100% ・中：100% ・高：100% ※R2年度末	人権
		2	学校における働き方改革の推進	(1)	学校組織マネジメント力の向上と教職員の意識改革	88	●	時間外在校等時間の上限時間である月45時間以内、年360時間以内を遵守できた教員の割合 （ただし、児童生徒等に係る臨時的な特別の事情がある場合は、月100時間未満、年720時間以内）	時間外在校等時間が月45時間以内の教員の割合 ・小：55.2% ・中：40.7% （R元. 6～10月校務支援員配置校（30校）調査）	時間外在校等時間が月45時間以内の教員の割合 ・小：17.2% ・中：11.1% （H28年度教員勤務実態調査）	・小：100% ・中：100% ・高：100% ・特：100%	教福
				(2)	業務の効率化・削減							
				(3)	専門スタッフ・外部人材の活用							